

自治連会則改定案臨時総会で議決

日吉台新聞

HIYOSHIDAI

発行

日吉台学区
株式会社ヒヨシダイ

発行責任者
濱崎 博

日吉台学区
個人情報保護方針
取り扱い文書



学区ホームページ

自治連改革実現へ確かな一歩

改革案浮上6年半、ようやくのスタート台

学区自治連合会は12月22日、日吉台市民センターで、臨時総会を開催、自治連改革を目的とした学区自治連合会則改定議案を提案した。改定議案は審議の結果、会則変更に必要な会員の2分の1以上の出席数をクリアしたうえ、出席者の4分の3以上の賛成票を得て議決、承認された。自治連改革は平成30年4月に浮上。この会則改定案議決で実に6年半強の歳月をかけたようやく改革のスタート台に立てることになった。自治連改革は実現に向け、歩みは小さいが確かな一歩を踏み出した。

集計の結果、会場出席者、会場出席者、書面表決者あわせて自治連会則に出席者は、2015人で、会員数の2分1以上を大きく超え総会の成立が確認された。

自治連会則第40条では、会則改定については、総会に出席した会員の4分の3以上の議決を得、かつ大津市長の認可を受けなければ変更できないと規定。今回の1929票の賛成数は、規定の4分の3を大きく超え、森議長が議決を宣言すると

今回の自治連会則改定議案は、令和2年1月の自治連合会のあり方を改革する委員会(自治連特別委)の答申をベースにしたもの。自治連改革を模索する学区自治連合会は、平成30年4月の総会で、自治連特別委の「自治連合会のあり方を改革する委員会」の設置を議

決した。特別委は、同年8月以降、各丁の代表、学区まちづくり協議会委員、公募委員、自治連合会役員らをメンバーに14回にわたり、検討作業を進め、令和2年1月、学区自治連に対し自治連改革案「自治連のあり方答申」を行った。しかし直後始まったコロナ禍など

で答申案は棚上げ状態に。コロナが明け学区自治連は、改革案を浮上させ令和6年6月、自治連に改革について詰めの検討を行なう特別委を再び設置、11月定例役員会で臨時総会の開催を決定、会則改定案を提案することを決めた。

執行部などを設置 定例役員会開催、見直しも

議決された改革案は、現在の役員会組織をスリム化、執行部組織を少人数にするなど組織改革を基本に負担軽減を目的とした業務改善策を盛り込んでいる。

と内容の変更の3点。新たに設ける執行部組織は、会長1名、副会長1名、事務局長1名、事務局次長1名、会計1名の計5人で構成、会長に集中する各種業務の分散と集団運営体制で施策の偏りを防止する。

とを条例とし「の条項があるため。定例役員会の議案は、大津市からの連絡調整事項が主なもので、各自治会代表による議決、同意が必要な案件は少なくこの月1回開催通例条項を削除し、毎月の役員会開催を見直した。

選の負担を軽減させるとともに学区自治連運営の継続性を担保させることを狙いとしている。学区の各種団体の責任者と自治連役員による合議体である定例協議会について、現在の会則では、月1回の開催を規定している。

しかし、定例協議会はこの数年開催実績がなく有名無実化しており、定例開催を改めるとともに名称も連絡協議会とし、自治連会長が必要に応じ招集することに改めた。



日吉台市民センターで開催される自治連臨時総会会場

臨時総会には、学区住民36人が出席、出席者に対する委任数135、出席できない会員による書面表決数1844が報告された。学区自治連会則第19条によると、総会は会員の2分の1以上の出席がなければ開会することができない、と規定。第22条では、総会に出席できない会員はあらかじめ書面をもって表決でき、または他の会員に代理として委任することができるとあり、同条では議決委任権と書面表決権を認め、同条2項では、委任者、書面表決者双方を出席会員とするみなし規定を設けている。

会則改定の骨子は①現在自治連で運営している事務局会議を拡充して執行部を新設し、定例役員会の月1回の開催見直し②会長の任期について、継続3年限度を5年に改める③定例協議会の名称

現在、自治連合会会長の任期は継続3年限度だがこれを継続5年に改めた。会長の人選は常に困難を極め、5年に延長して人

制限速度を守り
終端付近では最徐行

下り坂走行注意

- ◆自然加速で速度超過
- ◆制動距離増加
- ◆終端付近見通し不良

制限速度を守り
終端付近では最徐行

歩道のある道では必ず歩道を歩きましょう

夜の歩行時は明るい色の服・反射材を

学区要望回答

自治会分

◎1丁目南 補聴器の購入助成
補聴器の購入助成につきましては、国による助成制度の創設が望ましいと考えるため全国市長会から国に対して補聴器購入に対する補助制度の創設を要望しております。なお、市では難聴高齢者が早期に医療機関を受診し、適切に補聴器を使用するための啓発を行っております。(長寿政策課)ご意見として拝聴いたしました。(自治協働課)

◎1丁目北 市街灯の設置要望
今年度、新たに市街灯を設置いたします。(道路・河川管理課)違法駐車及び速度超過の取り締まりにつきましては、所管の大津警察へ要望内容をお伝えしました。(大津警察署交通第1課、自治協働課)

◎3丁目西 樹木の伐根管理要望
現在、市では数多くの都市公園や児童遊園地、並びに付帯する公園施設を維持管理しており、多額の費用を要しております。其のため公園利用者の通行や公園管理上の支障がない箇所につきましては樹木の伐根を行っております。ご理解いただくようお願いいたします。(公園緑地課)

ダイコン収穫に歓声



日吉台小学校体育館西側の学校園で12月18日、2年生児童19人がダイコンの収穫作業を行い、でっかく育ったダイコンを抜き取り、大喜びしていたII写真。学区社会福祉協議会が平成11年2月にはじめた「ふれあい農園」事業。事業を行う「ふれあい農園」(森

育寿代表)の人たちが、子どもたちといっしょに学校園に野菜の種や苗を植え付け管理、収穫などを行っている。ダイコンは、今年9月に種をまき、ふれあい農園グループのメンバーらが水やりや肥料散布、間引きなど栽培管理し育てた。今年のダイコンは、昨年引き続き大きく育ち、立派な出来栄となった。この日は、ふれあい農園代表の森さんからダイコンの食品としての性質や収穫のやり方を学んだあと、収穫へ。2、3人がかりで協力して大きく育ったダイコンを引っっこ抜き、歓声をあげていた。

みんながセンセイみんながサイト

日吉台コミュニティカレッジ開催

学区まちづくりカンパニー(会長、濱崎博元学区自治連合会長)主催の第3回「日吉台コミュニティカレッジ」が11月10日、日吉台市民センターで開かれた。

学区には、いろいろな知識、技術を持つ人が住む。コミュニティカレッジは、これらの人たちが話や体験を聞き、考え

たり物をつくったり、体を動かしたりする「みんながセンセイ、みんながサイト」と銘打つユニークなカルチャー講座。この日は、日吉台市民センターの第1、第2、大会議室などを使って「NISA講座」「韓国の文化に出会う」「アロハを楽しもう」「メークアップ術」「地震から身

を守る」「子育てネットワークを作ろう」など6講座が開かれ学区民や子どもたち約70人が受講した。大会議室で開かれた「アロハを楽しもう」は子どもたちがお母さんと青空、太陽、ハワイの風を感じながらしなやかな踊りを体験、こころよい汗を流していた。

しめ縄リースに挑戦

「しめ縄リースに挑戦しませんか」。学区老人クラブ連合会女性部(仲野茂子部長)は12月12日、日吉台市民センター会議室で、しめ縄リース講習会を開いた。

お正月に手づくりのしめ縄を飾ってもらおうと、老く連女性部が、しめ縄リースづくりを計画、この日は男性2人を含め計17人が参加した。講習会では、仲野部長を講師に和やかにわきあいあいとおしゃべりを交えながら1時間ばかりの間に見事なリースを作り上げ、参加者たちを満足させた。



和やかにおしゃべりをしながらしめ縄リースづくりに挑戦する参加者

老く連の清掃奉仕

日吉大社の迎春準備



日吉大社の境内で清掃奉仕をする学区老人クラブ連合会の会員ら

境内の年末清掃奉仕は、両老人クラブ連合会の恒例行事。日吉台学区からは4クラブの11人が学区老人クラブのオレンジ色のピブスを着用、参加した。この日は、寒波到来による時雨模様。時折雨足が強くなり凍える寒さとなった。

このあとお年寄りたちは、拝殿に集合、同神社神官からお祓いを受け、新年の健康と家内安全などを祈願し、今年の奉仕作業を締めくくった。

学区老人クラブ連合会(野々口義信会長)は昨年末の12月19日、隣接の坂本老人クラブ連合会とともに比叡山ふもとの名勝、日吉大社境内で、迎春準備の清掃奉仕を行った。

境内の年末清掃奉仕は、両老人クラブ連合会の恒例行事。日吉台学区からは4クラブの11人が学区老人クラブのオレンジ色のピブスを着用、参加した。この日は、寒波到来による時雨模様。時折雨足が強くなり凍える寒さとなった。

このあとお年寄りたちは、拝殿に集合、同神社神官からお祓いを受け、新年の健康と家内安全などを祈願し、今年の奉仕作業を締めくくった。

市街灯+私街灯

玄関灯・門灯 点灯にご協力ください!
夜道も明るくて安心
泥棒に狙われにくい街づくり



・門灯点灯やセンサーライト取り付けは多くの警察で防犯対策として推奨されています。
・電気代はLED電球(40W電球相当)の場合、1日12時間点灯でも月60円程度です。